



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION

三重 会報 歯科



- ◆平成26年度学校歯科保健先進地視察研修
- ◆平成26年度第6回都市会長会議

◆第6回みえ歯ートネット研修会

「現代の治療指針～ワンランク上の接着を目指す～」



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>



2015
45
No. 673

公益社団法人三重県歯科医師会 会長予備選挙結果について	1
日歯：世界会議2015を開催／田所会長らも参加	1
平成26年度第2回学術研修会	2
みえ歯ートネット通信（第6回みえ歯ートネット研修会）	6
障害者歯科センター診療状況	9
平成26年度学校歯科保健先進地視察研修	10
平成26年度第11回理事会（地域包括ケア対応協議会開催へ）	12
平成26年度第6回都市会長会議 (地域医療介護総合確保基金活用の具体案を提示)	14
平成26年度第12回理事会（平成27年度予算案を決定／基金を有効活用）	18
平成26年度新入会員講習会	20
地域包括ケア歯科医療対応研修会	20
医療管理（ジュニアNISAの概要）	21
<hr/>	
2月・3月会務日誌	22
会員消息／新入会員プロフィール	24
互助会の現況	29
平成26年10月・11月診療分歯科診療報酬状況	29
三重県歯科医師国民健康保険組合	30
三重県歯科医師協同組合	32
編集後記	33

公益社団法人三重県歯科医師会 会長予備選挙結果について



標題の選挙について27年3月5日(木)に立候補の届け出が締め切られたが、定数を超えるなかったため、選挙規則第35条により現職の田所 泰氏(伊勢)の当選が決定した。

これを受け3月22日(日)に開かれた第7回臨時代議員会で、中西敏也選挙管理委員長より田所氏に当選証書が手渡された。

日歯：世界会議2015を開催／田所会長らも参加



3月13日(金)～15日(日)、東京国際フォーラムで『世界会議2015』が開催された。この会議は、世界で最も早く超高齢社会に突入した日本で、健康新命を延伸させるための歯科医療・口腔保健のあり方を検証し、国内外の状況を踏まえつつエビデンスに基づく協議を行い、国際的な視点に立った提言を行うことを目的として日歯等が主催したもの。世界24か国から延べ1,800名の関係者が参集し、三重県歯からも田所会長、芝田専務理事に加え、日歯の委員を兼務する大杉、羽根、太田の各常務理事、桑名理事が参加した。

会議初日はWHO非感染性疾患(NCDs)予防部長のDouglas W・Bettcher氏の開会特別講演「Prevention of NCDs in the 21st century: the WHO vision」に続いて、国立長寿医療研究センター・大島伸一名誉総長やFDIのTin Chun Wong会長らが開会講演を行い、日歯・大久保会長も歯

科医療の役割についての日歯の考え方を披瀝した。

2日目の前半は、日歯・堀常務理事らが超高齢社会・日本での歯科医療の取組みについて、海外からの参加者に向けて紹介。続いて、米・独・仏、さらに香港・韓国の歯科医師会会长らが各国の状況を発表した後、パネルディスカッションで一次予防や公的医療保険制度での対応範囲等について意見交換が行われた。午後は超高齢社会での歯科医療・口腔保健の展開と健康政策の展開をテーマに、日歯・佐藤常務理事、深井理事の他、日本歯科大学の菊谷 武教授や静岡市開業の米山武義氏ら、日本の最前線で活躍する演者たちがそれぞれの立場からの講演を行った。

3日目には、武見敬三参議院議員が登壇し、日本は国民皆保険制度によりWHOが「すべての人が適切な予防、治療、リハビリなどの保健医療サービスを、必要な時に支払い可能な費用で受けられる状態」と定義するユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成したと協調しつつ、その持続可能性を現在の課題と位置付けた。シンポジウムではWHOの小川祐司歯科医官が座長を務め、アジア・アフリカ地域から参加したパネリストらが各国の取組みを報告。その後行われた全体会議を経て、大久保満男大会長により「健康新命延伸のための歯科医療・口腔保健に関する『東京宣言』」が発表され、3日間にわたる大会が閉幕した。

平成26年度 第2回学術研修会

平成27年2月8日（日）

三重県歯科医師会館

2月8日（日）、平成26年度第2回学術研修会が開かれ、愛知学院大学歯学部の富士谷盛興教授が「現代の治療指針」と題して、CAD/CAM冠の接着方法と象牙質知覚過敏症への対応について講演した。富士谷教授は、CAD/CAM冠の脱離や破折の原因が支台歯形成と不十分な接着（修復物と歯質が物性の高いレジンセメントで一体化されていないこと）にあると述べ、トラブルを防ぐために必要な知識として、歯冠修復用セラミックスの種類による前処置の違いや細かな注意点、被着面に合わせたワンステップボンドの使用方法等について具体的に紹介した。象牙質知覚過敏症については、その発症機序及び3つの治療戦略を明示したうえで、知覚過敏抑制剤の使い分けと効果的な使用方法を、臨床での適用順序等も含め分かりやすく説明した。広範な学術的知見の披露と並行して、現代の臨床家に求められる姿勢として、治療計画の策定に際し、患者へ十分な説明責任を果たすことや患者自身の視点に立った選択を行うことの重要性が繰り返し説かれたことも印象に残った。当日は三重県歯会員を中心に168名の受講者が会場を埋め、最後まで熱心に聴講した。

(学術委員・中村優也、濱口陸太 記)

現代の治療指針

ワンランク上の接着を目指す！

～ワンステップボンドとセルファードヒーシブ（自己接着型）レジンセメントを

確実に接着させるテクニック

象牙質知覚過敏症

～目からウロコのHys治療最前線

愛知学院大学歯学部保存修復学講座特殊診療科・富士谷盛興教授



■ ワンステップボンディング材を使いこなす

コンポジットレジン修復やセラミック修復で使用されるボンディング材は、現在ではワンステップタイプが主流になっており、被着面を選ばない「ユニバーサル」タイプのものが人気を集めている。ワンステップボンディング材とは、接着に必要な溶液が一つに混和されているもので、①被着面である歯質表面処理のためのエッティング ②歯質へのボンディング材浸透向上のためのプライミ

ング ③ボンディングレジンの浸透ーという接着の基本コンセプト（3ステップ）が1液で行われるため、これらの反応をきちんと理解し、正確な手順で行う必要がある（表1）。

まずは、接着の 基本的コンセプト

これを忘れてはいけません！

ワンステップといえども

基本は、どんな製品も3ステップ（3ボトル）

- エッティング
- プライミング
- ボンディング

Mega bondもG-bondもみんな
スコッチボンドMP
の手順を踏んで接着します！

表1：接着の基本コンセプト

■ ワンステップボンドを活かす5か条

ワンステップボンディング材には、親水性モノマーと疎水性モノマーが入っており、これらが分離しないようアルコールとアセトンも配合されている（図1）。

ワンステップボンドの仕組み

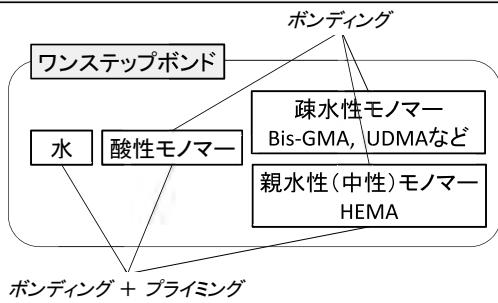


図1：ワンステップボンドの仕組み

アルコールとアセトンは揮発性が高く、速やかに蒸発が開始されるため、液は処理直前に用意する（目安として付属の深い採取皿ならば2分以内、一般的の採取皿ならば1分以内に使用する）。窩洞に対し液量が少ないと、歯面処理（酸処理）が停止し、ムラができるため、ボンディング剤が歯面を循環するよう窩洞全体にたっぷり塗るか、新しい液を何度も塗り足すことが必要である。エアブ

ローでは、接着阻害因子である水分をいかに飛ばし切るかが最重要ポイントである。順序としては、まず「中圧」でアルコールとアセトンを飛ばして相分離を起こさせ、その後「強圧」で不要となった水分を飛散し乾燥させることで接着成分が歯面に固着される。最後に、窩洞にフロアブル裏層を行うことで、レジンの重合収縮時や咬合力の応力緩和が補われ、刺激の出ないコンポジットレジン修復が可能となる（表2）。

とにかくOne-stepは、どうすれば良いの？

これだけ覚えればOK！

使用法のかんどころ 5か条

1. 液を処理直前に用意する
2. 1滴は用意する（よく振る）
3. 窩洞全体にたっぷり塗るか、新しい液を何度も塗り足すように塗布
4. Air-blowは5秒以上しっかりと
5. フロアブルライニングは必須

表2：ワンステップボンドを活かす5か条

■ Tooth Wearに対する修復方法

Tooth Wearは生活習慣病であり、細菌感染を原因としない歯の老化現象である。①咬耗・摩耗②酸蝕症③歯質くさび状欠損④象牙質知覚過敏症ーに分類され、治療にはフローの良いインジェクタブルレジン充填が効果的である。咬耗・摩耗への対応では、エナメル質窩縫のみリン酸エッティングを行い、ボンディング処理とフロアブルレジンでの修復が有効である。WSDに対する治療では、術後症状を防ぐために形成時に注意を払う必要があり、▽色調を合わせるためにエナメル質へのベベル付与▽接着を確実にするための象牙質の一層削除ーが有効であり、根面マージンはライトシャンファーとすることも有効である。また、1級や2級の深い窩洞やWSD多発患者やブラキシズムを持つ患者に対しては、重合収縮やたわみなどを緩衝するクッション層としてのライニング（裏層）が必須である。

■ う蝕予防

リカルデント[®](CPP-ACP、カゼインホスホペプチド-非結晶性リン酸カルシウム)には、歯の再石灰化に重要なリン酸カルシウムが歯になじみやすい状態で高濃度に含まれている。リン酸カルシウムには△脱灰抑制作用(初期虫歯の発生を抑える)△再石灰化作用(エナメル質にミネラルを取り戻す)△耐酸性効果(酸に溶けにくい歯を作る)ーがあるため、リカルデントガムは歯の再石灰化療法として有効であるとされている。ポスカ[®](POs-Ca)は、リン酸化オリゴ糖カルシウムと唾液が反応してリン酸カルシウムとなることで再石灰化作用を示すとされているが、唾液の少ない患者では効果が少ない。キシリトールはそれ自体に再石灰化作用はなく、期待されるのは主に唾液分泌が促されることによる除菌作用であり、区別して理解する必要がある。

■ CAD/CAM冠が割れる・外れる理由とその対策

27年に保険導入されたCAD/CAM冠には破折と脱離への対策が必要である。破折や脱離の原因としては、△支台歯形成がCAD/CAM冠仕様になっていない△接着性レジンセメントを用いていない△被着面に接着処理が施されていないーことが挙げられる。マージンがショルダー形態の場合、支台歯のスキャニングの際に光が届かず、正確に認識できないという特性があるだけでなく、プログラミング自体もショルダー形態を想定していないため、結果的にルーズフィットとなり脱落しやすくなる。また、保持形態を取らないCAD/CAM冠用の支台歯形態の場合、咬合圧を受け止める面が存在しないため、より接着性の強いレジンセメントで歯質と一体化する必要が生じる。

CAD/CAM冠に限らず、歯冠修復用セラミックス材料の接着には、それぞれの材質に合わせた多くの注意点がある。オールセラミックス冠やCAD/CAM冠を試適中や試適後に洗浄する場合、アルコールの使用は唾液中のタンパク質が固定され接着が妨げられるため禁忌である。サンドブラ

スト処理や専用のクリーニング液(Ivoclean[®]、Ivoclar Vivadent社製)、または中性洗剤の使用が有効である。アルミナやジルコニアに対しては、セラミックプライマー等によるリン酸エステル系モノマー処理が必須だが、これらの材料に対するリン酸エッティング処理は接着阻害を引き起こすため禁忌である。さらに、保険適応CAD/CAM冠用レジンブロックではフィラーの含有量が少なく、接着性が乏しいため、シランカップリング処理に十分な時間をかける必要がある(表3)。

合着(接着)材料 ～歯冠修復用セラミックスの接着の注意点・材料～	
歯冠修復用セラミックス	シリカベースのセラミックス (シリケートセラミックス) 長石英陶材 リューサイト強化型 ニケイ酸リチウム含有
	フッ化水素酸+シラン処理 (接着によって強度を増す) ↓ レジン系セメント
	シリカベースでないセラミックス (酸化セラミックス) 酸化アルミニウム ①ガラス浸透型 ②高密度焼結型 酸化ジルコニウム
	サンドブラスト処理、 ライボケミカル処理、 リン酸エステル系プライマー処理 (材料自体に強度あり) ↓ レジンセメント セルフアドヒーシブレジンセメント

表3：合着(接着)材料の注意点

最近では、プライマーを必要としないセルフアドヒーシブルーティングセメント(以下SAセメント)も急速に普及している。SAセメントは、操作性に優れていることもあり、ボックスフォームの窩洞であるセラミックインレー・ハイブリッド・セラミック冠に使用されるが、接着性は接着性レジンセメントより劣るため、ラミネートベニアやアドヒージョンブリッジには不向きである。

SAセメントを使用する場合には、レジンセメントのプライマーではなく、修復用のボンディング材を併用することにより、レジンセメント以上の接着性を獲得することができる。一方で、修復用のボンディング材を併用する際に問題となるのが、ボンディング材による浮き上がりであるが、AQボンドSP[®](サンメディカル社製)は皮膜厚さが5μmと薄いため有用である。

■ 象牙質知覚過敏発生の機序と抑制法の基本

象牙質知覚過敏症(Hys)はTooth Wearの一

つであり、生活習慣病として捉えられている。酸蝕症もTooth Wearに含まれ、酸性の食物を摂取する機会が多い人や、逆流性食道炎による嘔吐、イソジンでの頻繁な洗口等が原因となる場合もあり、患者の生活習慣を改善しなければならないという点で対応が難しい。最近では、8020運動の成果で、高齢者における残存歯が増えた一方、残った歯は老齢化しており、歯肉の退縮による歯根面露出や摩耗・咬耗による象牙質露出によって知覚過敏を訴える患者も非常に増えている。

Hysの発生機序は、象牙細管口から伝達された刺激が、タンパク質である細管内組織液を動かし、歯髄の感覚受容器により痛みが発生する—というものである。エアーや冷水、歯ブラシや繊維質の食物等による刺激で痛みが生じるが、知覚過敏の痛みが一過性で5~10秒以内に治まるのに対し、10秒以上持続する痛みがある場合は、歯髄充血や一部性漿液性歯髄炎等の歯髄病変の場合もあるため鑑別が必要である。

Hysの治療戦略には、①象牙細管口を封鎖する②タンパク質を凝固させ、細管内組織液が動かないようにする③神経や象牙芽細胞を鈍麻させる(閾値を上げる)ーの3つがある。具体的には、①結晶物やレジン系材料、グラスアイオノマーセメント系材料等で象牙細管口を封鎖して蓋をする②タンパク質凝固剤や組織表面吸収型レーザー等で細管内組織液を凝固して固定する③薬剤や組織透過型レーザーで歯髄神経や象牙芽細胞の感覚を鈍麻するーということになる(図2)。

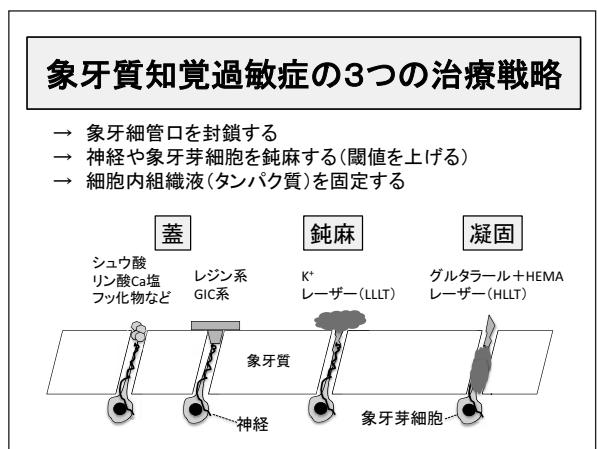


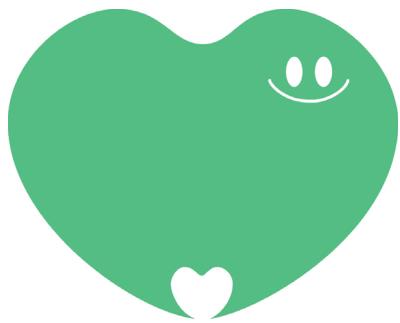
図2：象牙質知覚過敏症の3つの治療戦略

象牙質知覚過敏症の3つの治療戦略については、その適用順序に配慮することが肝要である。

第一選択は、知覚を鈍麻する方法であり、歯磨き剤のシュミテクト[®](グラクソ・スミスクライン社製)の活用が一般的かつ手軽な方法である。シュミテクトには5%の硝酸カリウムが含まれており、カリウムイオンが象牙細管中に拡散し刺激伝達を妨げる。そのため、歯牙に塗りこむように使用すると効果が上がる。

知覚の鈍麻で十分な効果が得られなかった場合には、組織液を凝固する方法を適用する。このタイプのHys抑制剤としてはGLUMAディセンシタイザー[®](ヘラウス社製)やDESENSY[®](日本歯科薬品社製)が挙げられる。これらはともに、5%グルタルアルデヒドと親水性モノマーであるHEMAとの水溶液であり、象牙細管内組織液中のタンパク質を凝固させる。ただし、Hysではない歯髄充血や一部性漿液性歯髄炎に対して使用すると逆に激しい痛みを起こすことがあるので注意を要する。

これも奏功しなかった場合に適用を検討するのが細管内を結晶物で塞ぐ方法ということになる。使用する材料は細管口を結晶物で塞ぐものとコンポジットレジンやグラスアイオノマーセメントに大別される。診断に迷った時には、細管口を結晶物で塞ぐタイプが第一選択となるが、現在最も推奨されるのは、ティースメイトディセンシタイザー[®](クラレ社製)である。これは、ハイドロキシアパタイトを生成させることで、象牙細管を封鎖して知覚過敏を抑制するものである。その他、スーパーシール[®](モリムラ・エイコー社製)はシュウ酸カルシウム結晶を、ナノシール[®](日本歯科薬品社製)はアルミニシリケートガラスとリン酸による結晶物を生成し、効果を発揮する。細管内をコンポジットレジンやグラスアイオノマーセメントで塞ぐ方法が最後の手段となるが、咬合面Hysの処置法では、被膜厚さの薄いハイブリットコートII[®](サンメディカル社製)やAQボンドSP[®](サンメディカル社製)が有効である。



みえ歯ートネット通信

<http://www.dental-mie.or.jp/heartnet/>

第6回みえ歯ートネット研修会



2月22日(日)、第6回みえ歯ートネット研修会が開かれ、前半は会員向けの研修として、松阪市すずき歯科クリニック・鈴木俊行院長（松阪地区歯科医師会会員）が「中途障害者への歯科的対応」と題して講演。脳梗塞や糖尿病、高血圧症や感染性心内膜炎等、歯科医師が日常診療で頻繁に遭遇する基礎疾患を有する患者を治療するうえでの注意点や対応に加え、歯科検診時の留意点についても解説した。後半は一般向け研修として、津市うめもとこどもクリニック・梅本正和院長

が「私が『子ども』『子育て』から学んだこと」と題して、すぐに泣き止む子と泣き続ける子の違いから貧困と虐待の問題、支援の重要性まで、幅広いテーマについて講演した。研修会には歯科医師、歯科衛生士、学校関係者、一般参加者を含めおよそ120名が参集。当日はマスコミの取材もあり、社会からの高い関心が窺われた。

(公衆衛生委員・黒井建志 記)

中途障害者への歯科的対応

すずき歯科クリニック院長・鈴木俊行氏



中途障害者とは、病気や事故によりある日突然障害者になってしまった人を指し、その原因には脳卒中、難病、交通事故、内部疾患（心機能、腎機能、呼吸器、膀胱、直腸、小腸機能障害）等がある。診療の際には、中途障害者には障害の受容への葛藤があることを認識し、それに対する心理的配慮をすべきである。

障害の受容とは、「あきらめでも居直りでもなく、障害に対する価値観の転換」であり「障害を

持つことが自己の全体としての人間的価値を低下させるものではないことの認識と体得を通じて、恥の意識や劣等感を克服し、積極的な生活態度に転ずること」である（上田 敏 [1980]）。障害者が自らの障害を受け入れるには時間を必要とし、受け入れるまでの過程には困難が伴う（表1）。

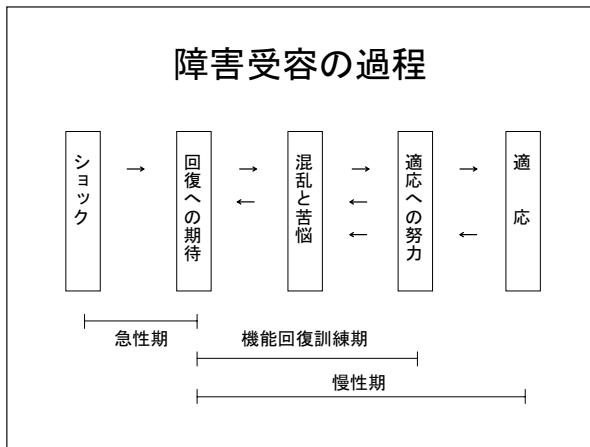


表1：障害受容の過程

中途障害者の歯科治療時に配慮すべき点として、△合併症（高血圧、虚血性心疾患、糖尿病、心不全、弁膜症、心房細動等）△感染対策（易感染患者、感染性心内膜炎）△出血傾向（抗凝固剤、抗血小板薬服用者）△血液疾患△常用薬剤一が挙げられる。

脳出血は様々な部位に発生するが、いずれも高血圧が危険因子となるので注意すべきである。脳梗塞患者に対する歯科治療では、麻痺による運動障害への対応に配慮する（図1）。



図1：運動障害への対応

パーキンソン病患者では、薬剤や低血圧、運動障害への対応を考慮すべきである。

高血圧に関して、歯科治療の可否を判断する基準として様々な数値が挙げられているが、160～95mmHg以下は通常の歯科治療可能であり、160～95mmHg以上の場合は歯科治療内容や合併症を考慮し注意して対応するが、局所麻酔や抜歯等、血圧上昇が予見できる歯科治療は避けた方がよい。180～110mmHg以上は歯科治療そのものが禁忌と考えている。

日本循環器学会の「感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン（2008年改訂版）」では、「ハイリスク群の患者では、口腔を衛生的に保つ必要がある」としたうえで、そのために「歯科治療の前やスケーリング等の口腔内の処置を実施する前に、炎症を抑えるために口腔内の洗浄を実施すること、定期的に歯科医のケアを受けることが必要である」とされている。さらに「手動又は電動歯ブラシ、糸ようじ、その他の歯垢除去用具等の使用」に当たっても「乱暴なブラッシングは歯肉や歯周を傷つけることになり、菌血症の誘因となる」ので、「適切な指導のもとに行う必要がある」と記載されている。

歯科検診時における注意事項としては、△体動の調整△開口法△開口器使用時の注意点△様々なトラブル△障害者に特有の口腔症状－等が挙げられる。枕やマット、タオル等を使って姿勢を工夫することも必要である。開口器や指ガード、割り箸等、器具を使用して開口させる方法があるが、強制的に開口させることによるトラブル（歯の脱臼や口唇の挫傷等）に十分に注意すべきである。

歯科医師も心電図が読める等、医科並みの全身管理の知識を持ち、障害者には愛護的に根気強く接して歯科治療を行う必要がある。中途障害者は、自分が障害者になったことを受け入れるまでに様々な精神的葛藤があり、それを乗り越えて初めて社会復帰している。治療に当たる私たちはそうした背景も理解しておかなければならぬ。

私が「子ども」「子育て」から学んだこと

うめもと こどもクリニック院長・梅本正和氏

子どもがいかに環境の影響を受けているか

子どもはすぐに泣くが、大人は我慢できるのはなぜだろう？ 子どもは泣いてもすぐに泣き止むのはどうしてだろうか？ 口を開ける子と開けない子は何が違うのだろうか？ 日々の診療の中で、泣き止まない子とすぐに泣き止む子をよく観察していると分かってくることがある。

口を開けるためには、本人が「この世の中は安心である」と思えることが必要である。そのためには親の健全な養育がものをいう。発達障害や不安を持っている子どもは、怖い気持ちがあるのでなかなか口を開けないのである。それを理解せず、無理に口を開けさせようとしてもトラウマを残すだけだ。子どもの行動は構造化すると分かりやすく、問題行動の有無も親の養育による影響が大きいと理解するのがよい。例えば、子どもの周りに大人が多数存在したり、年長の姉がすぐ側にいたりする子はすぐに泣き止む。ずっと泣き続ける子の場合には、その背景に不適切な養育がある可能性を考える（図2）。子どもの健やかな発達には、温かい眼差しを持った親の存在が必要なのだ。

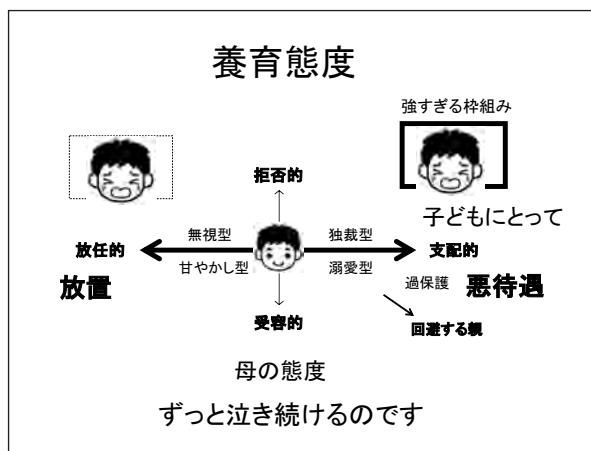


図2：養育態度

不適切な養育、虐待、貧困

養育では食事と睡眠、特に食事が大切である。例えば「お腹が減った」という子どものニーズに応えられる子育てができているかどうか。タイムリーな、間髪いれない反応が与えられているかどうかが将来の人格に関わっている可能性がある。しかし、育児はどんな仕事よりも厳しいものだ。仕事は逃げることができるが、育児は逃げることができない。医療者として関わる私たちがそのことを理解しておくことも大切だ。

適切な養育によって子どもが得るものは、「この世の中は安心だ（＝自尊感情・自己肯定感につながる）」「失敗しても大丈夫だ（＝失敗を恐れない）」という安心感である。それが検診時に口を開けるという勇気ある行動を支えているのだ。

近年注目が集まっている貧困家庭ではどうして不適切な養育に陥りやすいのだろうか？ 一人親世帯は146万世帯に及び、その60%が貧困状態にある。貧困とは国民の平均収入の半分に満たない収入ということであるが、寡婦（夫と死別または離別し、再婚していない女性）の33%が貧困状態にあるという統計もある。養育の背景にある貧困は、子どもに遠隔的に影響する。生活に逼迫している親（養育者）は、子どもに対する注意力・監督力が低下し、タイムリーな応答はおろか、他罰的で過酷な養育になりやすい。

夫婦関係の善し悪し、親子関係の善し悪しは、いずれも、子どもに悪影響を与え問題行動を引き起こすが、直接的な親子関係の問題よりも夫婦関係の問題の方がより子どもへの影響が大きいとするデータがある。虐待についても、自分が虐待を受けている場合より、兄弟や他の誰かが虐待を受けているのを見る方が、重篤なPTSD（心的外傷

後ストレス障害)が残るという研究結果もある。子どもは他者が攻撃を受けていることに、より一層、傷つくのだ(解離による回避ができないことが一つの理由)。

医療・福祉・教育の根本的な視点の違い

医療は個人の病理を扱うために、その背景(例えば「貧困」や「虐待」)については後回しになる。そこに病理(=負の要素)があることが前提であり、科学の視点に立ってその原因を探り(診断)、見出した負のポイントに対して手術や薬剤等による攻撃的な修正を加えていくのが基本姿勢だ。

一方、福祉においては、その背景は重視されるが、原因は必ずしも問われない。今、目の前にいる問題を抱えた家族にとっての目標は何か、そのニーズは何かを考えるというプロセスを踏む。そこで行われているのは、困っている人の同盟者として、何か足りない部分に必要な支援を積み重ねるプラス思考の行為であり、対象者の力を引き出し(エンパワーメント)、自立に向かって援助することである。医療の根本にあるのがセラピーマインドだとすれば、福祉に求められるのはサポートマインドである。さらに教育においては、人の特質を見定め、対象者の現在の状態は進化の過程であるとみなし、その後の発達の可能性に賭けるのがその本質である。

今、医療者はこうした福祉や教育の基礎にあるプラス思考を身に付けていくことが必要なのだと私は考えている。

三重県歯科医師会でも児童虐待防止の取組みが



進められているが、実際に虐待を疑った時にどのように対応しているだろうか。医療者が「おかしい」と気付いた時にはその直感を重視すべきである。そこでは正確な診断よりも迅速な通報を優先し、児童相談所へ早急に連絡して欲しい。虐待の有無の判定やその後の対処は専門家に任せればよいと考えて構わない。

現状では医療と福祉の間にコミュニケーションが不足している。それを少しでも改善するために、私は児童相談センター中勢児童相談所の鈴木聰所長とともに県内の医療機関に出向き、虐待の現状と課題についてのセミナーも実施している。三重県行政も、27年度に若手医師を対象とした児童虐待を早期発見するための研修事業を予算案に盛り込む等、児童虐待防止に積極的な姿勢を示しており、好ましい傾向だと思う。

子どもの人格が受ける環境的な影響は遺伝子のそれを凌駕している。貧困状態にある子どもたちは可視化されにくいか、声を上げられない子どもたちがいることに想像力を働かせて欲しい。

障害者歯科センター診療状況

2月

診療日	7日
診療担当者	常勤1名、非常勤5名 内訳・会員2名、大学3名
延患者数	109名

3月

診療日	7日
診療担当者	常勤1名、非常勤5名 内訳・会員2名、大学3名
延患者数	146名

平成26年度 学校歯科保健 先進地視察研修

平成27年2月12日（木）
岐阜県・瑞穂市立穂積小学校

2月12日（木）、平成26年度学校歯科保健先進地視察研修が実施された。研修には市町教育委員会から5名、養護教諭5名、大台町他行政から10名、議員2名、桑員及び津歯科医師会会长はじめ郡市会役員5名、計27名が参加した。三重県歯からは福森理事、浜瀬理事、熊谷理事と事務局職員が、三重県健康福祉部からは芝田主幹が随行した。今回は3年ぶりに岐阜県瑞穂市立穂積小学校を訪問し、給食後の歯磨きとフッ化物洗口、保健室を見学。その後、養護教諭から歯科保健活動の紹介を受け、朝日大学歯学部長・磯崎篤則教授による、岐阜県内のフッ化物洗口導入の経緯等、今後の三重県での普及に向けて多くの示唆を含んだ講演を受講した。なお、今回の研修については3月12日（木）に三重テレビの地域情報番組『とってもワクドキ！』で紹介された。



2月12日（木）、岐阜県瑞穂市立穂積小学校で平成26年度学校歯科保健先進地視察研修が行われた。三重県歯から福森理事、浜瀬理事、熊谷理事、三重県健康福祉部から芝田主幹が随行。桑員歯科医師会・星野会長、津歯科医師会・前田会長をはじめ郡市会役員が5名参加、歯科保健条例の制定に向けた動きのある大台町からは町会議員2名を含む多数の参加があった。

当日は午前9時30分に県庁をバスで出発。車内で参加者全員の自己紹介の後、今回の趣旨説明や視察における注意が行われた。朝日大学にて昼食を済ませ、その後、12時30分より穂積小学校にて研修を開始した。

最初に瑞穂市教育委員会の横山博信教育長より

穂積小学校の紹介があった。横山教育長は以前、同校の校長を務めていたこともあり、その当時から現在に至るまでの学校歯科保健への取組みの歴史等にも触れられた。

続いて校内を見学。まず、5年生の教室でフッ化物洗口の風景を見学した。児童たちは給食を食べ終わると、歯磨きの歌を合図に砂時計やタイマーを使用し3分間の歯磨きを行う。その後、それぞれ番号の振られた自分の洗口用コップを取り、洗面所で30回の洗口を行い、自分でコップを洗い、所定の位置に戻すという流れであった。歯磨きからの一連の流れが確立されており、当たり前のように全児童が洗口までを終えているのが印象的だった。



保健室の見学では、乳歯から永久歯への生え変わり時期の早見表やブラッシング法の図示等、歯科保健への意識の高さが窺われる掲示物や取組みが目立った。

校内見学の後、江崎明子養護教諭より穂積小学校の歯科保健活動の紹介があった。穂積小学校のフッ化物洗口の特徴は、やはりその歴史の長さにある。昭和50年よりフッ化物洗口を開始しており、40年にわたる取組みはすでに2世代を超える市民に浸透している。地域全体にフッ化物洗口の有効性や安全性について理解が定着しているので、保護者からの同意書も必要とされていないという。夏休みに行う「家庭での歯の染出しテスト」やPTAの歯科研修会等にも協力的であるとのこと。朝日大学との連携により磯崎教授や同大学の歯科衛生士による「歯科保健研修会」が開催されていることも特徴的である。その他、定期的な染出しテストやカリオスタッフ検査も行われている。以下の課題としては、マンネリ化による児童や保護者のモチベーションの低下が挙げられた。



続いて朝日大学歯学部長・口腔感染医療学講座・磯崎篤則教授により「三重県の可能性をさぐる」と題した講演が行われた。瑞穂市は朝日大学の近隣ということもあり、大学主導型で歯科保健先進地としての歴史ができたこと、フッ化物洗口の実施に当たっては受益者負担として月額100円の自己負担があることが特徴である。一方で歴史があるが故のマンネリ化はここでも課題として指摘された。昨年度の視察先である山県市の事例もフッ化物洗口導入における成功例として取り上げられ、歯科医師会・行政・教育委員会の三位一体

の取組みが重要であることが強調された。

三重県では27年度から熊野市の小学校で、数校のモデル校においてフッ化物洗口が開始される予定になっているが、同市で行った説明会での講演についても触れられ、三重県でのフッ化物洗口の普及へ向けた第一歩に期待が寄せられた。

講演後、研修を終えた参加者たちは、小学校の玄関付近にある「歯の塔」の前で各自記念撮影。この「歯の塔」は、毎年6月にこの1年間に抜けた乳歯を保健室で預かった児童を対象に、感謝の気持ちと永久歯を大切にする気持ちを込めて「納歯式」と称したセレモニーを行う歯のモニュメントである。昭和56年度の卒業生が寄贈したもので、穂積小学校の歯科保健の歴史を象徴するものであった。

今年度の視察研修には町会議員やフッ化物洗口のモデル事業の始まる学校の養護教諭が参加する等、三重県の歯科保健が着実に前進していることが実感される研修になった。

(理事・浜瀬太郎 記)



平成26年度

February

第11回理事会

平成27年2月5日（木）

三重県歯科医師会館

地域包括ケア対応協議会開催へ



2月5日(木)、第11回理事会が開かれた。田所会長からは、平成27年度歯科保健関係予算の概要や27年度税制改正大綱で四段階制や事業税非課税措置が存続となったこと等が報告された。羽根

常務理事からは第1回地域包括ケア対応協議会(2/15)のプログラムが示された。同協議会では地域包括ケアシステム構築に向け、歯科医師会が役割を果たしていくため、郡市会担当者を交えての講演と報告、及びグループワーク等が行われる。大杉常務理事からは、審査会と一層緊密に連携し審査基準の統一を迅速に行っていくため、定期的に「社会保険疑義事項検討会議」を開催することが合意され、すでに1月に初会合が開かれたことが報告された。協議では、地域医療介護総合確保基金を活用した県の地域口腔ケアステーション体制整備事業のうち、障害者歯科センターの設備整備について意見が交わされた。

委員会事業等報告

●社会保障委員会

【事業活動】個別指導・自主懇談【出席会議】社会保険疑義事項検討会議(1/15)、第4回社会保障委員会(1/31)【報告事項】歯科用貴金属価格の随時改定(27年4月)

●医療管理委員会

【出席会議】東海ブロックエイズ診療中核拠点病院歯科医療連絡協議会(1/31)【報告事項】読売新聞1月19日付記事に対する意見(日歯)、平成27年度歯科衛生士研修会講師、非会員歯科医療機関の情報提供(日歯)、歯科相談(2件)

●学術委員会

【事業活動】スポーツデンティスト養成講座医科共通II(1/10・11)、鈴鹿中央総合病院「周術期の口腔ケアに関する勉強会」(1/15)【報告事項】研修会・講習会・医薬品関連情報(HP)、

スポーツ歯学への取組みに関するアンケート調査(依頼)、平成27年度日歯生涯研修セミナー実施要領、平成27年度日本歯科医学会プロジェクト研究事業の公募(依頼)

●公衆衛生委員会

【事業活動】第67回三重県公衆衛生学会(1/9)、児童相談所における歯科健診・歯科保健指導(1/15)【出席会議】後期高齢者歯科健診データ分析に関する打合せ(1/8)、ライオン歯科衛生研究所による平成26年度学校歯科保健教室打合せ(1/15)、平成26年度都道府県地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会(1/21)、平成26年度第2回三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会、平成26年度伊賀地区第1回地域8020運動推進協議会、平成26年度松阪地区第2回地域8020運動推進協議会、桑員歯科医師

会学校歯科医研修会、平成26年度三重県公衆衛生審議会地域・職域連携部会、三重大学緩和ケアセミナー、MieMu（三重県総合博物館）との打合せ（1/22）、平成26年度紀南地区第1回地域8020運動推進協議会（1/29）、平成26年度第4回三重県医療審議会健やか親子推進部会（2/2）、三重県公衆衛生審議会（2/3）【報告事項】東海口腔衛生学会発表（2/8）、第1回地域包括ケア対応協議会（2/15）の日程と出席者、都市歯科医師会地域包括ケアに関するアンケート結果、MIES+検証事業に対する学校での対応等についてのアンケート結果、後期高齢者歯科健診事業の今後の予定【協議事項】イオンモール東員イベント「キッズデンタルクリニック」（3/21）、『ママごはん』原稿（4月号）、災害対応リーフレット（案）、地域包括ケア歯科医療対応研修会（3/19）、平成27年度地域口腔ケアステーション体制整備事業案

●広報情報委員会

【事業活動】三重テレビ『歯チカラ』再放送（1/8）、FM三重『はぴはぴ子育て』放送及び収録【出席会議】後期高齢者歯科健診データ分

その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
2. 介護保険給付審査会報告
3. 日本歯科医学会役員（学会会長）選挙について

議題

第1号：都市会長会議招集並びに附議事項に関する件（2/26）

第2号：三重県歯科医師会会費免除について

第3号：県内歯科衛生士養成学校平成26年度卒業生に対する三重県歯会長表彰被表彰者について

第4号：三重県睡眠障害研究会後援名義の使用申請について

第5号：入会申請について

第6号：互助会入会申請について

第7号：互助会給付について（1/8～2/4 申請分）

析に関する打合せ（1/8）、三重テレビ『とってもワクドキ！』打合せ、FM三重『はぴはぴ子育て』打合せ、「Yahoo！Japanプレミアム広告」打合せ（1/29）【報告事項】ウェブサイト平成27年1月分アクセス集計、役員名簿の更新【協議事項】平成26年度後期高齢者歯科健診医療機関アンケート、『日歯広報』コラム「都道府県通信」執筆、ウェブサイトアクセス集計、Eメール配信登録の状況

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況（2/1現在）、東海信越地区災害時等の相互応援に関する協定書の覚書の施行

●日歯委員会報告

【地域保健委員会】正・副委員長打合せ（1/21）、特定健診・特定保健指導への歯科関連プログラム導入に向けた意見交換会（2/1）、第4回がん診療医科歯科連携推進協議会幹事会（2/4）、第3回がん診療医科歯科連携推進協議会運営管理委員会（2/4）【税務・青色申告委員会】第4回税務・青色申告委員会及び国税庁との連絡協議（2/4）

協議事項

1. 障害者歯科センター設備整備について
2. 平成27年度事業計画について
3. 会務並びに事業の運営について
 - 第20回三重県歯科保健大会特別企画
4. その他
 - 日歯・第177回臨時代議員会質問事項

平成26年度

第6回都市会長会議

February

平成27年2月26日（木）

三重県歯科医師会館

地域医療介護総合確保基金活用の具体案を提示

2月26日（木）、第6回都市会長会議が開かれた。この日の協議では27年度事業計画の他、地域包括ケアシステムへの対応に関連して、地域医療介護総合確保基金を活用した「三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業補助金交付要領(案)」等が示された。設備整備事業補助金は在宅歯科医療機器等の整備に係るものだが、補助対象は地域口腔ケアステーション体制整備事業協力医療機関として郡市歯科医師会が認めた医療機関となる予定。田所会長は、2月20日（金）に開かれた第119回都道府県会長会議から、次期日歯会長予備選挙の結果、日本歯科医学会の一般社団法人化等について報告した。



会長報告



次期日歯会長予備選挙の結果について

2月13日（金）に次期日歯会長予備選挙の投票が締め切られ即日開票された。その結果、△高木幹正氏：346票△太田謙司氏：284票－で高木

氏が当選した。6月に開催される日歯・定時代議員会で理事が選任され、最初の理事会で代表理事が選出されることにより正式に高木氏の会長就任が決まる見通し。

第119回都道府県会長会議について

2月20日（金）の都道府県会長会議では、△歯科医師の資質向上等に関する検討会△地域医療構想策定ガイドライン等に関する意見△日歯の未入会者対策△日本歯科医学会の機能分化に伴う一般社団法人の設立－等が報告された。

1月16日（金）には厚労省の「歯科医師の資質向上等に関する検討会」の初会合が開かれた。今後、①歯科医師需給対策 ②女性歯科医師の

活躍の場 ③専門医制度－等についてワーキンググループで議論が重ねられる。

地域医療構想策定ガイドラインについては12月12日(金)の第5回検討会に日歯・和田副会長が意見書を提出。既存の歯科診療所を活用し、医科疾患患者や要介護高齢者等に途切れのない歯科医療を提供することが望まれると主張した。市町での地域医療ビジョンの検討に参画する際には日歯のこうした主張を踏まえて欲しい。

未入会者対策では、日歯が歯科医師会についての情報誌『Together』を発刊した他、2月に2回にわたり全国紙へ新聞広告を掲載した。

日本歯科医学会については従来、日歯の内部組織と位置付けられてきたが、住友会長の諮問を受けた同会内部の「学会のあり方検討協議会」による答申が出され、2月23日(月)の評議員会で法人化に向けた同意が得られている。今後は、7月に発足する第2期住友執行部で定款等の作成が進められる見通し。

日歯・第177回臨時代議員会地区代表質問について

3月に開かれる日歯代議員会では、新潟県歯選出の永井代議員が「新たな財政支援制度を効果的に活用するための8020実態調査について」と題して東海信越地区代表質問を行う予定。

一般会務報告

会員数

26年4月1日～27年2月26日の期間で入会15名、退会12名。現会員数874名。

委員会事業報告

【学術】(蛭川理事)

平成26年度第2回学術研修会について

2月8日(日)、愛知学院大学・富士谷盛興教授を講師に迎えて開催。168名が受講した(P.2参照)。

平成26年度都市会学術助成金の交付について

申請があった10地区の都市会に対して学術研修会の助成金を交付した。

平成27年度歯科保健関係予算案の主要事項

厚労省医政局歯科保健課が平成27年度歯科保健関係予算案を発表した。従来は医政局事業に組み込まれていた8020運動推進特別事業が口腔保健推進事業と統合され、歯科保健課の単独予算として約2億5,000万円が計上された。地域医療介護総合確保基金については、26年度と同様の医療分904億円に加えて介護分724億円が上積みされ1,628億円が計上されている。なお、26年度分の同基金の歯科関連の金額について、日歯・大久保会長は50億円程度との見通しを明らかにしている。

平成27年度税制改正大綱について

社会保険診療報酬に係る所得計算の特例措置及び事業税非課税の特例措置は27年度も現行のまま存続されることになった。

地域医療連携推進法人制度（仮称）の創設及び医療法人制度の見直しについて

2月9日(月)、厚労省の「医療法人の事業展開等に関する検討会」は、非営利型の新法人「地域医療連携推進法人制度（仮称）」の創設を提言した報告書を公表した。新制度は医療機関相互の機能分担及び業務連携を推進するもので、地域医療構想達成のための選択肢と考えられている。

平成26年度新入会員講習会について

3月1日(日)に開催予定。対象者は16名(P.20参照)。

平成27年度日歯生涯研修セミナーについて

27年度のテーマは「健康長寿社会を支える歯科医療～総合的視点に立った臨床歯科～」。東海信越地区では8月30日(日)に岐阜県で、東京都開業の細野 純氏、日歯大教授の菊谷 武氏が、それぞれ在宅歯科医療について講演する。

【公衆衛生】(羽根常務理事)

三重県後期高齢者広域連合歯科健診事業について

26年度よりスタートした県下の後期高齢者歯科健診事業は27年度も継続して実施する予定で準備を進めている。健診期間は広域連合の希望もあり9～11月の3か月間に拡大される見込み。初年度は講習を受けた583件の歯科医療機関が健診を実施したが、27年度から新規に登録する医療機関には6月末までに各都市会で講習会を実施する。講習内容については4月に各都市会の担当者に伝達講習を行う。

公衆衛生各事業について

8020運動推進特別実施事業として9施設でフッ化物洗口事業、17校で学校歯科保健指導が、在宅歯科医療体制充実事業として7施設で口腔ケア推進事業が実施されている。

【社会保障】(大杉常務理事)



歯科用貴金属の隨時改定について

27年4月に歯科鋳造用金銀パラジウム合金の公示価格が、現行の1,190円／gから1,279円／gに改定される。

東海北陸厚生局三重事務所の移転について

3月9日(月)より津合同庁舎(津市丸之内26-8)の4階に移転する(三重労働局も3月16日付で同じ場所に移転)。

生活保護法の改正に伴う指定医療機関の申請について

既報通り、26年7月1日から生活保護指定医療機関の指定に有効期間(6年毎の指定の更新制)が導入された。指定を受ける医療機関は27年6月30日までに新たに申請をする必要があるが、従来、指定を受けていた歯科医療機関のうち、200余りの歯科医療機関が未申請となって

いる。3月以降に県より再度の通知があるので注意されたい。

【医療管理】(桑名理事)

消費増税に関する調査について

社会保険診療報酬に係る消費税について検討する基礎資料を得るために、日歯から「消費増税に関する調査票」が一部会員宛(三重県で約100名)に送付された。

平成27年度歯科助手講習会について

例年通り4～5月に4日間にわたり開催する(詳細は『三歯会報』2・3月号に掲載)。受講申込みは3月末まで。

歯科衛生士復職支援対策連絡協議会(日歯)について

2月14日(土)、慢性的な歯科衛生士不足への対応を目的に日歯が開催。全国の都道府県の担当者に加え、日本歯科衛生士会・金澤紀子会長はじめ歯科衛生士会関係者、厚労省関係者らも出席した。会合では、歯科衛生士を登録制として未就業者を把握できるようにする案が示された他、「看護師等の人材確保の推進に関する法律」と同様の制度的措置の検討も進めたいとの意向が示された。

【広報情報】(太田常務理事)



Eメール配信登録について

20年にスタートした県歯の「Eメール配信登録」は約50%の登録率を保ってきたが、新規登録が伸び悩んでいる。コスト削減の意味でも登録推進を図りたいと考えているので周知願いたい(※注 この直後、「Eメール配信」のシステム変更により、既登録者がメールソフトの

再設定を行う必要が生じ、その旨を案内した。これに合わせ、従来の専用メールアドレスに加え任意のメールアドレスの登録を可能とした他、紙資料の要否についての再確認も行った。今後も会員各位に同システムの積極的な活用をお願いしたい)。

その他の報告



S E C O M 安否確認登録状況について

2月26日(木)現在でSECOM安否確認シス

協議事項

各都市歯科医師会における地域包括ケアシステムへの対応について(羽根常務理事)



地域医療介護総合確保基金を活用した、「三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業補助金交付要領(案)」及び「三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業(案)」がほぼ固まってきた。「設備整備事業補助金」は在宅医療機器等の設備整備を目的としたもので、対象は地域口腔ケアステーション体制整備事業協力医療機関として郡市会が認めた

平成26年度後期高齢者歯科健診に関する事後アンケート

2月16日(月)付で後期高齢者歯科健診実施医療機関を対象に事後アンケートを実施した(2月末締切)。アンケート結果は次年度の事業実施要項に反映したいと考えている。

テムの登録率は85.1%に増加しているが、今後も登録の呼びかけに協力していただきたい。次回の安否確認訓練は4月以降に実施する予定。
第20回三重県歯科保健大会特別企画について

三重県歯科保健大会は27年11月に第20回の節目の大会を迎えることから、特別企画として三重県総合博物館(Mie Mu)との共同企画『歯の博物館(仮称)』を開催すべく、現在、準備を進めている。開催地の津をはじめ会員各位には企画の成功に向け協力を願いたい。

医療機関となる。対象機器はいわゆるポータブルユニットに限定されるものではないので、広範な活用を期待している。「サポートマネージャー雇用事業」は地域口腔ケアステーション運営に関わる人材を雇用するためのもので、郡市会等がハローワーク及び県歯の無料職業紹介所を経由して雇用することを想定している。

平成27年度事業計画について(芝田専務理事)

次年度の事業計画(案)について説明。基本的な計画に、26年度から大きな変更はないものの、より内容を充実させていきたいとした。

障害者歯科センターの設備整備について(同)

障害者歯科センターの診療用チェアの更新に約1,400万円の資金が必要な状況にある。地域医療介護総合確保基金より予算を確保できる見通しであるが、1/2は事業主負担の規定があるため、必要に応じて約700万円を会館建設基金より充てたい(代議員会に議案上程を予定)。

(広報情報委員・井上健三 記)

平成26年度

March

第12回理事会

平成27年3月5日（木）

三重県歯科医師会館

平成27年度予算案を決定／基金を有効活用



3月5日(木)に第12回理事会が開かれた。羽根常務理事からは第1回地域包括ケア対応協議会について報告があった他、第6回郡市会長会議でも報告された三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業の詳細が示された。このうち、地域口腔

ケアステーションのサポートマネージャー雇用事業については、3月22日(日)に郡市会を対象とした説明会を開くことを決めた。太田常務理事からは「Eメール配信」のシステム変更を機に登録者の拡大を図り、会員宛配布物等のコスト削減につなげたいとの意向が示された。議事では第7回臨時代議員会の議案を決定。平成27年度予算案は地域医療介護総合確保基金の有効活用を図りつつ、繰越金の減少傾向に歯止めをかけることを意識して細部に気を配った編成となった。執行部としては今後もコスト意識を持った事業運営が必要との認識で一致しており、今回の事業計画及び予算編成はそれが反映された内容となっている。

委員会事業等報告

●社会保障委員会

【事業活動】第2回社会保険疑義事項検討会議(3/5)【出席会議】平成26年度東海北陸厚生局管内歯科医師会担当者連絡協議会(2/18)

●医療管理委員会

【事業活動】鈴鹿歯科医師会医療管理講習会(2/18)、津歯科医師会医療管理・社会保障合同講習会(2/19)【出席会議】都道府県歯科医師会医療管理担当理事連絡協議会、歯科衛生士復職支援対策連絡協議会(日歯、2/14)、三重県医療安全研修会(2/15)【報告事項】「平成26年分所得税青色申告決算書」の調査、歯科衛生士PRポスター作成、次年度近鉄広告、歯科相談(2件)【議題】「Yahoo! Japanプレミアム広告」(歯科衛生士周知)

●学術委員会

【事業活動】第2回学術研修会(2/8)、第12回三重県スポーツ人の集い(2/17)【報告事項】研修会・講習会・医薬品関連情報(HP)、平成27年度スポーツデンティスト養成講座開催案内(日歯)、口腔疾患への漢方薬に関する研修会の企画(日本歯科東洋学会)

●福祉厚生委員会

【協議事項】互助会費未納者の取扱い、大相撲名古屋場所チケット特別優先販売

●公衆衛生委員会

【事業活動】平成26年度東海口腔衛生学会(2/8)、平成26年度学校歯科保健先進地視察研修(2/12)、児童相談所における歯科健診・歯科保健指導(2/19)、学校歯科医生生涯研修制度平

成26年度専門研修組織活動(2/22)【出席会議】
公衆衛生事業打合せ(2/5)、三重県要保護児童対策協議会(2/10)、三重県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会(2/13)、第1回地域包括ケア対応協議会(2/15)、平成26年度日本学校歯科医会加盟団体長会議(2/18)、平成26年度学校保健課題解決支援事業第2回協議会、平成26年度南勢志摩地区第2回地域8020運動推進協議会(2/19)、三重県学校保健会理事会(2/26)、平成26年度地域包括ケア報告会(3/1)、地域包括ケア歯科医療対応研修会打合せ(3/5)【報告事項】地域包括ケア歯科医療対応研修会(3/19)日程と出席者【協議事項】喫煙予防リーフレット案、三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業、三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業

●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』放送及び収録、第6回みえ歯ートネット研修会NHK取材(2/22)、津歯科医師会・身元確認研修会 NHK取材(2/25)【報告事項】ウェブサ

その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
2. 介護保険給付審査会報告
3. 平成26年度社会歯科学研究会秋期研修会 in くまもと(2/7)
4. 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック視察(2/19)
5. 第20回中規模県歯科医師会連合会(2/19)

議題

- 第1号：第7回臨時代議員会の招集並びに附議事項に関する件(3/22)
- 第2号：定款第12条に該当する退会(みなし退会)通知の送付について
- 第3号：入会申請について
- 第4号：終身会員の承認について
- 第5号：互助会入会申請について
- 第6号：互助会給付について(2/5～3/4 申請分)

イト平成27年2月分アクセス集計、役員名簿の広告掲載、『日歯広報』コラム「都道府県通信」、平成26年度後期高齢者歯科健診医療機関事後アンケート、平成26年度後期高齢者歯科健診結果の分析【協議事項】Eメール配信登録関連(配布メールアカウントの設定変更、任意のメールアドレスの別途登録等、新規登録依頼等の各文書)

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況(3/2現在)、三重県地域防災計画(平成27年3月修正版)

●日歯委員会報告

【地域保健委員会】第4回がん診療医科歯科連携推進協議会幹事会、第3回がん診療医科歯科連携推進協議会運営管理委員会(2/4)、第2回がん診療医科歯科連携推進協議会(2/25)、第7回高齢者歯科保健・介護保険部門打合せ、第9回企画調整部門打合せ【医療管理委員会】歯科衛生士復職支援対策連絡協議会担当者打合せ(2/14)

協議事項

1. 平成27年度事業計画について
 - (1) 委員会別事業実施内容
 - (2) 行事予定
2. 第20回三重県歯科保健大会について
 - (1) 大会企画及びサブテーマ
 - (2) 第1回実行委員会日程(4/23)

平成26年度 新入会員講習会

平成27年3月1日（日） 三重県歯科医師会館



3月1日（日）、平成26年度新入会員講習会が開かれ、対象者16名が受講した。田所会長は冒頭の挨拶で、会員が歯科医師会を積極的に利活用することに期待を寄せた。講習では、芝田専務理事が

日歯・県歯・都市歯会の三層構造を含めた歯科医師会の全体像や関連団体の役割を紹介。続いて羽根常務理事が歯科医師会事業の根幹となる歯科保健活動について健診事業等を中心に解説した。大杉常務理事は保険請求に当たって県歯作成の『保険診療の手引』の活用を求めるとともに、審査委員会の役割について、返戻と査定の違い等も含め詳しく説明した。辻副会長は、歯科医業経営に必要な多様な課題について歯科医師会が幅広くバックアップしていることを強調。太田常務理事は県歯ウェブサイトの会員向けコンテンツの活用を促すとともに、「Eメール配信システム」への登録を呼びかけた。

地域包括ケア歯科医療対応研修会

平成27年3月19日（木） 三重県歯科医師会館

3月19日（木）、地域包括ケア歯科医療対応研修会が開かれた。この研修会は、三重県での地域包括ケアシステム構築に向けて必要な歯科保健・歯科医療サービスを提供する体制整備が求められていることを受け、関係者の情報共有とスキルアップを目的として企画された。この日は県下の都市歯科医師会及び歯科衛生士会各支部の代表者（歯科医師30名、歯科衛生士11名）と行政関係者（20名）が参加した。研修会では藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座・東口高志教授が「食べて治す、食べて癒す」と題して基調講演。東口教授は、我が国のこれから医療及び福祉の方向性は、①患者中心の医療 ②チーム医療 ③高齢者医療や福祉の確立 ④地域連携の重視 ⑤医療

費削減に集約されると述べ、特に高齢者を中心に“食力”をいかに維持・改善させるかが大切で、これを支えるために歯科－医科の連携はもちろん、県民が自ら連携を作らねばならない時期が来ていると説いた。次いで事例報告として三重県歯科衛生士会・近田紀子会長が「松阪地区歯科医師会 口腔ケアステーションの取組み」と題して、その設立の経緯から現在の活動状況を報告した。研修会の後半では地域ごとに「歯科に望むこと」「歯科ができること」をテーマにグループワークを実施。各地域とも、在宅患者や他職種への情報提供の重要性を課題に挙げ、今後の具体的な方策として、地域口腔ケアステーションの設立が望まれるという認識で一致した。



ジュニアNISAの概要

Q：平成27年度税制改正で未成年者口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税制度（ジュニアNISA）が創設されたと聞きましたが、その制度の内容を教えてください。

A：平成26年より、少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税制度（NISA）が導入されていますが、NISAに係る非課税口座を開設できるのは20歳以上の居住者等に限られています。そこで、家計の安定的な資産形成を支援し、高齢者の金融資産を若年層へ移転させて、投資のすそ野の拡大を図るため、未成年者口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税制度（ジュニアNISA）が創設されました。

（1）未成年者口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税制度の概要

原則として、平成28年1月1日以後に未成年者口座の開設申し込みをし、平成28年4月1日から未成年者口座に受け入れる上場株式等について適用され、未成年者口座内の①非課税管理勘定（平成28年から平成35年）については勘定を設けた日の1月1日から5年を経過する日までの期間、②継続管理勘定（平成36年から平成40年）については勘定を設けた日から居住者等がその年1月1日において20歳である年の前年12月31日までの期間に、支払いを受けるべきその勘定において管理されている上場株式等の配当及びその期間内に譲渡したその上場株式等の譲渡所得等について所得税を課税しないという制度です。

利用対象者	その年1月1日現在で20歳未満である居住者等、その年に出生した者
年間投資上限	毎年80万円（最大400万円）
非課税対象	上場株式、公募株式投資信託等
投資可能期間	平成28年4月から平成35年12月末まで ※平成35年以降も、口座開設者が20歳に達するまでは非課税保有を継続可能
非課税期間	最長5年間
口座開設手続	マイナンバーを提出して口座開設手続きを行う（住民票の提出不要）
運用管理	親権者等の代理又は同意の下で投資 18歳になるまで原則として払出不可（払出制限） ※災害等やむを得ない場合には、非課税での払出を可能とする

（注）払出制限に違反した場合には、非課税であった全期間の配当及び譲渡益、払出日における含み益に対して20.315%（国税15.315%、住民税5%）の税率で源泉徴収することとされています。

（2）NISA口座への移管等

その年1月1日において20歳である居住者等が同日に未成年者口座を開設している場合には、同日以後は、その未成年者口座が開設されている金融商品取引業者等の営業所にNISA口座（非課税口座）が開設されたものとみなされます。

また、金融商品取引業者等の営業所に開設されている未成年者口座の非課税管理勘定又は継続管理勘定において管理されていた上場株式等は、同一の金融商品取引業者等の営業所に開設されているNISA口座（非課税口座）に移管することができます。



2月・3月会務日誌

2月

- 1日 特定健診・特定保健指導への歯科関連プログラム導入に向けた意見交換会に羽根常務理事、福森理事出席
- 2日 平成26年度三重県後発医薬品適正使用協議会に辻副会長出席
平成26年度第4回三重県医療審議会健やか親子推進部会に羽根常務理事出席
- 3日 三重県公衆衛生審議会に羽根常務理事出席
少子化対策と医療・健康を考える懇談会(役員出席)
- 4日 日本歯科医師会第4回税務・青色申告委員会に太田常務理事出席
- 5日 常務理事会、第11回理事会開催
- 7・8日 平成26年度社会歯科学研究会秋期研修会が熊本県で開催され田所会長、中井副会長、芝田専務理事出席
- 8日 平成26年度第2回学術研修会開催
平成26年度東海口腔衛生学会に伊東理事出席
- 10日 三重県要保護児童対策協議会に羽根常務理事出席
- 12日 平成26年度学校歯科保健先進地視察研修開催
神島保育所におけるフッ化物洗口事業に羽根常務理事出席
- 13日 三重県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会に羽根常務理事出席
- 14日 都道府県歯科医師会医療管理担当理事連絡協議会及び歯科衛生士復職支援対策連絡協議会に辻副会長、桑名理事、伊藤理事出席
- 15日 第1回地域包括ケア対応協議会開催
- 三重県医療安全研修会に辻副会長、桑名理事、伊藤理事出席
- 伊賀歯科医師会社保講習会に大杉常務理事、稻本理事出席
- 17日 平成26年度第2回三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会に大杉常務理事出席
第12回三重県スポーツ人の集いに蛭川理事出席
少子化対策と医療・健康を考える懇談会(役員出席)
- 18日 平成26年度日本学校歯科医会加盟団体長会議に中井副会長出席
平成26年度東海北陸厚生局管内歯科医師会担当者連絡協議会が愛知県で開催され田所会長、芝田専務理事、大杉常務理事出席
鈴鹿歯科医師会医療管理講習会に辻副会長出席
- 19日 平成26年度南勢志摩地区第2回地域8020運動推進協議会開催
平成26年度学校保健課題解決支援事業第2回協議会に羽根常務理事出席
津歯科医師会医療管理・社会保障合同講習会に大杉常務理事、前田理事、伊藤理事出席
第20回中規模県歯科医師会連合会に田所会長、中井副会長、辻副会長、芝田専務理事出席
- 20日 第119回都道府県会長会議に田所会長出席
- 22日 第6回みえ歯ートネット研修会開催
学校歯科医生生涯研修制度平成26年度専門研修「組織活動」が愛知県で開催され伊東理事出席



Mie Dental Association

- 25日 津歯科医師会大規模災害時における身元確認のための研修会に辻副会長、熊谷理事出席
- 26日 第6回郡市会長会議開催
三重県学校保健会理事会に中井副会長出席

- 桑員歯科医師会大規模災害時における身元確認のための研修会に辻副会長、陣田会員出席
- 28日 少子化対策と医療・健康を考える懇談会(役員出席)

3月

- 1日 平成26年度新入会員講習会開催
平成26年度地域包括ケア報告会に中井副会長、福森理事、伊東理事出席
- 2日 平成26年度第2回三重県保険者協議会に田所会長出席
三重県准看護師試験委員会に太田常務理事出席
- 3日 常務理事会開催
- 4日 伊勢保健衛生専門学校卒業証書授与式、第6回三重県経済懇談会に田所会長出席
- 5日 第12回理事会、第2回社会保険疑義事項検討会議開催
ユマニテク医療福祉大学校卒業証書授与式に芝田専務理事出席
地域包括ケア歯科医療対応研修会打合せに中井副会長、福森理事出席
- 7日 全国7地区日本歯科医師会平成26年度災害コーディネーター研修会が新潟県で開催され熊谷理事、伊東理事出席
東海信越地区歯科医師会医療管理担当者連絡協議会が愛知県で開催され辻副会長、桑名理事、伊藤理事出席
- 三重県立総合医療センター第8回市民公開講座に芝田専務理事出席
- 8日 平成26年度第2回医療管理講習会開催
第1回東海三県小児在宅医療研究会が岐阜県で開催され福森理事出席
- 10日 平成26年度第1回三重県医療審議会災害医

- 療対策部会に芝田専務理事出席
- 12日 平成26年度障害者歯科センター推進連絡協議会開催
三重県立公衆衛生学院卒業証書授与式に中井副会長出席
伊勢地区歯科医師会検診講習会、三重県在宅医療推進懇話会に羽根常務理事出席
- 12・13日 日本歯科医師会第177回臨時代議員会に田所会長、芝田専務理事出席
- 13日 世界会議2015に田所会長、芝田専務理事、太田常務理事出席
- 14日 世界会議2015に田所会長、芝田専務理事、大杉常務理事、羽根常務理事、太田常務理事出席
- 15日 世界会議2015に田所会長、芝田専務理事、大杉常務理事、桑名理事出席
みえ・医療と健康を守る会役員会に中井副会長出席
- 17日 三重県救急医療情報センター第6回定時理事会に辻副会長出席
- 18日 第2回三重県腎臓病療法連携推進協議会に桑名理事出席
- 19日 地域包括ケア歯科医療対応研修会、第3回学術委員会、議事運営特別委員会開催
- 20日 平成26年度第2回三重県医療安全推進協議会に桑名理事出席
- 21日 歯とお口の健康づくりキャンペーンイベントに熊谷理事、伊東理事、浜瀬理事、伊藤



公衆衛生委員出席
 22日 第7回臨時代議員会、三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業説明会開催
 23日 平成26年度三重県医療審議会「新たな財政支援制度」懇話会に田所会長出席
 24日 日本学校歯科医会第86回臨時総会に中井副会長出席
 「三重県死因究明等推進協議会（仮称）」設置に向けた準備会に熊谷理事出席
 27日 都道府県地域医療構想（ビジョン）の策定

及び医療計画における都道府県歯科医師会実務担当者連絡協議会に中井副会長出席
 28日 日本歯科医師会第5回税務・青色申告委員会に太田常務理事出席
 都道府県歯科医師会税務担当理事連絡協議会に太田常務理事、桑名理事、伊藤理事出席
 四日市歯科医師会医療管理学会に辻副会長出席
 31日 常務理事会開催
 8020推進財団第8回評議員会に田所会長出席

会員消息

Member's News

本会会員数 (4月1日現在)

正会員第1種（一般）	700名
正会員第2種（勤務）	26名
正会員終身	136名
準会員第3種（法人）	8名
準会員第4種（直属）	2名
長期の疾病等の会員	1名
計	873名

日歯会員数 65,060名 (2月28日現在)

やましたなおひこ
山下直彦先生 (3. 1付)

診四日市市日永西

2-20-12

山下歯科医院

電話 059-346-2812

FAX 同 上

(四日市)

おざわ まなぶ
小澤 学先生 (3. 1付)

診四日市市貝家町山川

1398-26

おざわ歯科

電話 059-320-3580

FAX 同 上

(四日市)

新入会員

もり だいすけ
森 大祐先生 (3. 1付)

診四日市市高花平3丁目

1-3

高花平デンタルクリニック

電話 059-320-3331

FAX 059-320-3332

(四日市)



Mie Dental Association



さかい さとし
坂井 聰先生 (4. 1付)
謹四日市市西浜田町6-13
坂井ファミリー歯科
電話 059-352-9222
FAX 同 上
(四日市)

FAX番号変更

沼田明美先生 (松阪)
(診) FAX 0598-85-1012



わたなべ まさる
渡邊 優先生 (4. 1付)
謹津市久居明神町2522
ひさいインター歯科
電話 059-256-4618
FAX 同 上
(津)

所属都市会変更

長野 治先生 (松阪)
伊勢地区へ変更されました。
(診) 伊勢市小俣町本町185-1
宮川駅前歯科
電話 0596-21-0648
FAX 同 上



むらた けんじ
村田賢司先生 (4. 1付)
謹松阪市京町508-10
やまゆり歯科
電話 0598-25-1230
FAX 0598-25-0808
(松阪)

診療所(分院)廃止

桃井房夫先生 (伊賀)

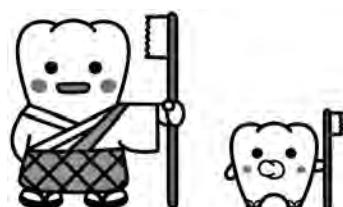
謹んでおくやみ申し上げます



岩名淳一郎先生 (伊賀)
去る1月6日、お亡くなりになられました。
享年69歳

診療所名変更

高田裕晃先生 (四日市)
医療法人 優駿会 タカダ歯科医院





新入会員プロフィール

Rookie's Profile

もり だいすけ
森 大祐先生（四日市）

1. 学歴

高校 愛知県立昭和高等学校
大学 愛知学院大学（平成11年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成12年4月 医療法人みづほ会

平成19年4月 ライオンズ北勢歯科

平成24年5月 服部歯科医院

3. 開業年月日

平成27年4月16日

やましたなおひこ
山下直彦先生（四日市）

1. 学歴

高校 私立暁高等学校
大学 愛知学院大学（平成11年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成12年4月 はやかわ矯正歯科
(四日市市)
平成18年4月 きらめきデンタルクリニック
(東海市)

3. 開業年月日

平成19年2月17日

4. メッセージ

初めてまして。8年前に父親の診療所を増

築、矯正歯科部門という形で開業し、四日市歯科医師会の準会員として経験を積ませていただきました。

今回、四日市歯科医師会正会員、三重県歯科医師会と入会させていただくことになりました。

大学卒業後は矯正歯科を専門に沢山の経験を積ませていただき、今後は地域医療に貢献していくことを目指して、診療内容の充実に努めていきたいと思います。

未熟者ですが、精一杯頑張りますので宜しく御願いします。

おざわ まなぶ
小澤 学先生（四日市）

1. 学歴

高校 三重県立四日市南高等学校
大学 愛知学院大学（平成11年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成12年4月 愛知学院大学大学院
口腔病理学講座
平成16年4月 堀田歯科

平成18年4月 鈴村歯科

3. 開業年月日

平成20年4月1日

4. メッセージ

この度、入会させていただきました、小澤学と申します。

諸事情により、歯科医師会に未入会の状態



で開業し、7年の月日が経ちました。開業医という仕事を始めて一番に思ったことは、孤独でした。やはり、身近に相談できる人がいないというのは、結構つらく感じるところでした。山あり谷ありで何とか過ごしてきましたが、出身校である愛知学院の先輩方にご迷惑をかけながらも背中を押していただき、また、歯科医療という仕事の特性上、政治的、行政的に尽力されている先輩の姿を見て、小さな力ですが何かしら協力できることがあればと思い、ようやくですが入会する運びとなりました。

まだまだ色々なことに関して未熟な歯科医師ですので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。

坂井 聰先生（四日市）

1. 学歴

高校 三重県立四日市南高等学校
大学 岡山大学（平成6年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成7年5月 坂井ファミリー歯科

3. メッセージ

この度、入会させていただくことになりました、坂井 聰です。

大学卒業後すぐに帰郷し、父坂井 隆の下で歯科医師としての技能や考え方を教わりつつ、日々の診療を通して研鑽に努めてきました。ここ数年はそれなりに自立した診療を行うことができるようになってきましたが、最近は医院のマネジメントの面で悩むことが多くなったように思います。まだまだ学ぶべきことは多いと感じる日々を過ごしています。

私生活では職住一致の生活環境と生来の運動嫌いが重なって、慢性の運動不足状態です。時折父と二人で練習がてらゴルフのラウンド



に出ますが、スコアの方はお察しで……。たまに家族で出かける小旅行が良いリフレッシュになっています。

今後ともよろしくお願ひいたします。





わたなべ まさる
渡邊 優先生（津）

Mie Dental Association

1. 学歴

高校 私立高田高等学校
大学 鹿児島大学（平成18年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成19年4月 鹿児島大学歯学部附属病院
平成20年4月 林歯科医院
平成21年4月 たなか歯科
平成23年6月 スマイル歯科ひさい

3. 開業年月日 平成25年10月2日

4. メッセージ

会員の皆様、初めまして。久居インター
チェンジのすぐ東側の久居インターラーデン
内にあります「ひさいインター歯科」の渡邊
優と申します。

高田高校を卒業後、西の果て鹿児島大学を
卒業し、平成25年10月より現在の場所で診療

させていただいています。

趣味は最近余り触れていないギターに車、
それと歴史関係の書籍を読むことです。

少しずつでも技術を今より向上させて、地
域の患者さんに貢献できるような診療所にで
きればと思います。



むらた けんじ
村田賢司先生（松阪）

1. 学歴

高校 私立三重高等学校
大学 松本歯科大学（平成13年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成14年4月 大阪歯科大学大学院
平成19年4月 こうべ市歯科センター
平成21年4月 松本歯科大学
平成24年4月 はやし歯科医院
平成25年7月 右京歯科

3. 開業年月日

平成27年4月21日

4. メッセージ

この度、入会させていただくことになりました
村田賢司と申します。

三重県歯科医師会に入会できることを誇り
に思い、一会员として恥じない行動を心掛け

ていきます。これまで大学や診療所などで多く
の先生方から教わったことを忘れずに、地
域の皆様に安全で安心の歯科治療ができるよ
うに精進していきます。

まだまだ至らない点はありますが、ご指導
ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。





互助会の現況

Mutual Aid Association

(27年2月1日～28日)

第1部（疾病共済）

入会	1名	退会	1名	累計	743名
収入累計	188,928,853円			繰越 入金	188,911,589円 17,264円
支 出	1,500,000円				
残 高	187,428,853円			定期 普通 国債	118,000,000円 49,428,853円 20,000,000円

療養給付：4名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

入会	1名	退会	1名	累計	751名
収入累計	158,806,866円			繰越 入金	158,791,723円 15,143円
支 出	0円				
残 高	158,806,866円			定期 普通	110,690,000円 48,116,866円

(27年3月1日～31日)

第1部（疾病共済）

入会	2名	退会	10名	累計	735名
収入累計	188,198,353円			繰越 入金	187,428,853円 769,500円
支 出	1,500,000円				
残 高	186,698,353円			定期 普通 国債	118,000,000円 48,698,353円 20,000,000円

療養給付：5名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

入会	2名	退会	10名	累計	743名
収入累計	158,848,110円			繰越 入金	158,806,866円 41,244円
支 出	0円				
残 高	158,848,110円			定期 普通	110,690,000円 48,158,110円

平成26年10月診療分歯科診療報酬状況（三重県）							
	社会保険			国民保険			
	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	
一般	本人	1.8	641.2	1,135.6	1.9	639.7	1,190.4
	家族	1.6	590.5	943.7			
後期高齢者医療	－	－	－	2.0	684.5	1,351.2	

平成26年11月診療分歯科診療報酬状況（三重県）							
	社会保険			国民保険			
	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	
一般	本人	1.7	642.4	1,111.1	1.8	644.1	1,144.8
	家族	1.5	592.8	912.1			
後期高齢者医療	－	－	－	1.9	676.1	1,278.4	

三重県歯科医師 国民健康保険組合

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

第138回通常組合会／前期高齢者納付金賦課額引上げへ



2月26日(木)、第138回通常組合会が開かれた。

武田理事長は挨拶の中で、この日上程された議案に含まれる前期高齢者納付金賦課額の引上げについて、組合員に理解を求めた。また、2月の社会保障審議会医療保険部会で医療保険制度改革関連法案が了承されたことも報告。懸案であった国保組合への国庫補助（現行定率：32%）については、28年度から加入者の平均所得に応じて段階的に引き下げられる（最も引き下げられた場合で13%）見込みで、三歯国保組合も厳しい運営を迫られることになる。

平成26年度第2回全歯連通常総会／当日に国庫補助見直しが閣議決定

3月3日(火)、都内・アルカディア市ヶ谷で全歯連（全国歯科医師国保組合連合会）の平成26年度第2回通常総会が開かれ、武田理事長と浜瀬理事が出席した。小澤会長は挨拶の中で、この日閣議決定された医療保険制度改革関連法案に、被保険者の所得水準の高い国保組合の国庫補助の見直しが盛り込まれたことを報告。来賓の松本衆議院議員や尾辻参議院議員も同法案について触れ、

国保組合を支えていくために今後も最大限の努力はするとしつつも、現在の医療費増加等の状況を踏まえ、補助率の引下げについて一定の理解を求めた。石井みどり・西村まさみ両参議院議員も挨拶に立ち、現在の歯科業界の状況を考えると大幅な国庫補助の削減は受け入れ難く、粘り強く交渉していきたいと述べた。議事では事業計画案、予算案ともに承認された。

全協第64回通常総会／27年度事業計画及び予算等を決議

3月6日(金)、東京元赤坂の明治記念館で全協（全国国民健康保険組合協会）の第64回通常総会が開かれ、武田理事長と熊谷常務理事が出席した。冒頭の挨拶に立った阿部会長は、医療保険制度改革関連法案について触れ、見直しは決まったものの国庫補助の廃止自体は避けられたことに理解を求めて、後期高齢者支援金や前期高齢者納付金の拠出金にも所得水準に応じた納付を求めていく

ことを強調した。来賓として挨拶に立った伊吹文明前衆議院議長は、「同種同業の組合は組合員の生命と健康を守り、保険料の収納率の高さ、職種による疾病の傾向調査等、設立当初の目的を達成している」と評価。今後、安定した組合制度の運営と新規組合が設立できるように厚労省に働きかけていくと述べた。議事では27年度事業計画及び予算等が決議された。

平成26年12月／平成27年1月

現況

保険給付状況

26年12月

		件 数	費 用 額	保険者負担額
療 養 給 付 費	当月分	3,740	59,567,276	42,037,061
	累 計	32,553	459,952,038	326,131,099
療 養 費	当月分	110		386,845
	累 計	966		3,670,546
高 額 療 養 費	当月分	31		4,771,312
	累 計	237		22,317,555
移 送 費	当月分	—		—
	累 計	—		—
出産育児 一 時 金	当月分	5		2,100,000
	累 計	33		13,860,000
葬 祭 費	当月分	2		160,000
	累 計	8		920,000
傷 病 手 当 金	当月分	15		530,000
	累 計	115		4,174,000

27年1月

		件 数	費 用 額	保険者負担額
療 養 給 付 費	当月分	3,808	48,407,966	34,332,290
	累 計	36,361	508,360,004	360,463,389
療 養 費	当月分	90		330,042
	累 計	1,056		4,000,588
高 額 療 養 費	当月分	44		2,999,758
	累 計	281		25,317,313
移 送 費	当月分	—		—
	累 計	—		—
出産育児 一 時 金	当月分	6		2,520,000
	累 計	39		16,380,000
葬 祭 費	当月分	—		—
	累 計	8		920,000
傷 病 手 当 金	当月分	21		763,000
	累 計	136		4,937,000

収支状況

26年度27年1月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	1,034,050,978
歳 出 合 計	831,000,467
収 支 差 引 残 高	203,050,511

26年度27年2月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	86,266,976
歳 出 合 計	114,396,261
収 支 差 引 残 高	△ 28,129,285

被保険者異動状況

27年2月28日現在

区 分	被 保 険 者 数	前月との比較
組 合 員	2,699	△ 10
家 族	1,657	3
計	4,356	△ 7

27年3月31日現在

区 分	被 保 険 者 数	前月との比較
組 合 員	2,677	△ 22
家 族	1,652	△ 5
計	4,329	△ 27

三重県歯科医師 協同組合

MIE DENTIST COOPERATIVE UNION

理事会、エムディ取締役会／22日の総代会に向けて協議



3月5日(木)、理事会及び(株)エムディの取締役会が開かれた。会合では、第87回臨時総代会の報告事項や議案について協議。また、電子レセプト猶予措置が終了する27年3月以降も診療報酬請求を書面で行う歯科診療所への対応や、セディナデンタルローンの新たな提案等について意見を交わした。

第87回臨時総代会



3月22日(日)、第87回臨時総代会が開かれた。

武田理事長は挨拶の中で、ホームページバナー広告の指定業者となっているデンタルシステムズ(株)の歯科用カルテ・レセプトコンピュータについて紹介した。

協同組合の平成26年度中間事業報告▽平成26年度労働保険事務組合中間事業報告▽株式会社エムディの平成27年度事業計画と予算一の報告に次いで議事に移り、▽平成27年度事業計画▽平成27年度収支予算▽平成27年度労働保険事務組合収支予算一の3議案が上程され、いずれも可決成立した。

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛に
あ申し込み下さい。
三重県歯科医師協同組合ホームページ
からオンラインでも購入できます。

歯科経理帳	(12か月分)	950円
収支日計表	(100枚綴)	620円
患者日計表	(100枚綴)	620円
領 収 書	(100枚綴)	470円
その他、保険診療情報提供文書各種等		

MIE DENTIST COOPERATIVE UNION

編集後記

Editor's Note

年度初めのこの時期、新人のスタッフに院内研修を行う機会が多いと思います。そんな時、改めてテキストやマニュアル、取扱説明書等を見直してみると、いつの間にか細かい点でルールから逸脱していることに気付く場合があります。また、新人の率直な疑問が問題点を浮き彫りにしてくれることもあります。こうした機会が、診療内容の充実、院内環境の改善及び事故防止等につながることは少なくないと感じています。

近年、「外部評価」「第三者評価」「社外取締役」等といった言葉をよく耳にするのも、組織の健全性を保つには、外からの視点・意見を受け入れる体制が必要不可欠と考えられているからではないでしょうか。小規模な医療機関でこうした客観的な評価を受けるのはなかなか難しいことですが、まずは身近にいるフレッシュな顔ぶれからの意見に耳を傾けることから始めたいと思います。

(広報情報委員・中瀬 実 記)

ともに 地域の未来を 切り拓く。

皆様の
経営課題や悩みをともに考え
事業の成長をサポートいたします。

キラリと光るあなたの銀行
ひ第三銀行

<http://www.daisanbank.co.jp>



NEW

INTEGO/INTEGO pro.

PERFORMANCE YOU CAN RELY ON.

GREAT VALUE

QUALITY
MADE IN
GERMANY

ERGONOMIC
DESIGN

コストパフォーマンスと幅広い
オプション、個々の要求に応える
“価値”が信頼をより強固なものに

シロナ新世代トリートメントセンターの自信作登場！

MADE IN
GERMANY

CAD/CAM冠
保険対応
機種

CEREC.

オムニカムおよびブルーカムでも
2014年10月より保険収載が可能に！

■ シロナデンタルシステムズ株式会社 名古屋支店
名古屋市中区栄5-28-19 アルティメイトタワー栄V4F
TEL: 052-251-8467 www.sirona.co.jp info@sirona.co.jp

製造

SIRONA Dental Systems GmbH
Bensheim, Germany
www.sirona.com

製造販売

シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5階
Tel: 03-5148-7895 Fax: 03-5148-7820

一般的名称：歯科用ユニット 販売名：シロナ INTEGO 認証番号：226ABZ000151000 管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器
一般的名称：シェアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット 販売名：セレック AC 承認番号：22208200001200 管理医療機器 特定保守管理医療機器
一般的名称：シェアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット 販売名：セレック AC オムニカム 承認番号：225008200005000 管理医療機器 特定保守管理医療機器
一般的名称：歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット 販売名：セレック MC 承認番号：1381X10118000020 一般医療機器

The Dental Company

sirona.



ご存知ですか?

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS(アサヒメタルアカウントシステム)という

金・白金・パラジウム・銀を、

それぞれ今より高く売却する方法があること

アサヒプリテック(株)の分析能力が、

世界的に評価されているということ

小さな資源を、
あらたな資産へ



アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部／〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー TEL(03)6270-1831 FAX(03)6270-1825 URL : <http://www.asahipretec.com>

■営業所／札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄

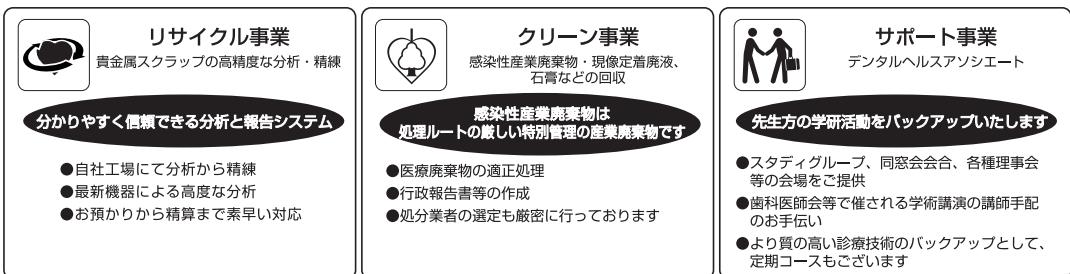
貴金属リサイクルと産業廃物処理は、 エキスパートの相田化学におまかせください。

私たちはこれまで、歯科分野のソリューションで着実な実績と信頼を蓄積してまいりました。

多くの経験により培った知識とノウハウを歯科の先生方にご提案いたします。

歯科分野の諸問題は、エキスパートの相田化学にご相談ください。

相田化学の歯科営業体制は、
リサイクル事業・クリーン事業・サポート事業の3事業で構成されています。



社団法人日本金地金流通協会正会員

相田化学工業株式会社
名古屋営業所

〒485-0825 愛知県小牧市下末五反田458番 TEL.0568-42-6713 FAX.0568-42-6714

本社 東京都府中市南町6-36-2

支店／営業所／出張所

札幌・仙台・郡山・新潟・東京・神奈川・埼玉・千葉・甲府・静岡・長野・名古屋・大阪・広島・九州



MUTSUMI
技術と品質で強く、信頼のコミュニケーション。

アルジネート印象材

フルフィーナネオ[®]

親水性と軽い練り感
お試しください。この素晴らしい練和感。

1. 長期保存安定性をさらに高めました。
2. 安心できる寒天との連合印象採得。
3. スピーディーに安定したゲル化体を形成、精密な印象採得ができます。



●NORMAL SET(ベバーミント)

●5kg(1kg×5) 標準価格¥21,000(税別)

●承認番号:224AFBZX00128000



●NOMAL SET(ストロベリー)

子どもや高齢者にも好評のストロベリー

製造販売元

睦化学工業株式会社 お問い合わせホットライン▶059-333-1611▶歯科材料サービス係

〒510-0804 三重県四日市市万古町8-9 TEL 059-331-2354(代) FAX 059-331-1044 URL <http://www.mutsumikagaku.co.jp>

いつもリサイクルの
最先端に
私たちはいます。

純金積立(ゴールドクラブ)

横浜金属ゴールドクラブで
純金積立をしませんか?



ジュエリー買取り

貴金属精錬業だからこそ
どこよりも高値買取り致します。

歯科材リサイクル

歯科医院・技工所様から発生する歯科材
スクラップを回収・買取いたします。

インターネット特典

ホームページをご覧になられたお客様

精錬基本料金を
無料サービス

納期
20日以内の
お支払い



横浜金属商事株式会社

□ 0120-14-4580

横浜金属グループは貴金属リサイクルを通じて地球環境の保全に貢献しています。

【横浜金属グループ】

本社/〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-5-2 峠の原工業団地内
Tel:042-774-5481 Fax:042-773-7266
本社・仙台・埼玉・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌(営)・函館(営)・釧路(営)・
北陸(営)・四国(営)

- 日本経済団体連合会会員
- 一般社団法人 金地金流通協会正会員
- 株東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 株東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- L.M.E(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- JIS 日本工業規格表示認可工場
- ISO 9001 認証取得(横浜金属㈱)
- ISO14001 認証取得(横浜金属商事㈱環境R部)

2014年9月、 「損保ジャパン日本興亜」誕生！



損保ジャパン日本興亜

「株式会社損害保険ジャパン」と「日本興亜損害保険株式会社」は合併し、
「損害保険ジャパン日本興亜株式会社（略称：損保ジャパン日本興亜）」として、
2014年9月1日から新たなスタートをきました。
私たちのこれから取り組みに、どうぞご期待ください。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
三重支店 津支社
〒514-0004 三重県津市栄町 3-115
Tel.059(226)3011 <http://www.sjnk.co.jp>

会員好評受付中！

mint

三重イフターネットサービス

ブロードバンドが未来をひらく！

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Soaric

人を大切にしたデザインとテクノロジーから生まれました

The New PdW Style

直感的で自然な動作での診療を可能にする、先進のトレーシステム。
ユニットへの組み込みが可能な、マイクロスコープと根管長測定機器。
小型ボディに根管治療機能が搭載された、新開発マイクロモーター。
そのディテールに至るまで一貫して表現された、洗練のデザイン。



発売 株式会社 モリタ 大阪本社：大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525 東京本社：東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161
製造販売・製造 株式会社 モリタ製作所 本社工場：京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141 久御山工場：京都府久世郡久御山町市田新珠城190 〒613-0022 TEL 0774-43-7594
販売名：ソアリック 標準価格：4,543,000円～(消費税別途) 2013年1月21日現在 一般的名称：歯科用ユニット 機器の分類：管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号：222ACBZX00016000
www.dental-plaza.com